

常任委員会の動き

第1常任委員会

委員長 野呂 照幸 副委員長 笹本 牧司
 委員 鶴城 雪子 川口 宏和 坂本 守正
 対馬 真澄 燕 昌克 天谷 孝行
 (アイウエオ順)

《平成23年5月24日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

- 「東日本大震災」に伴う対応状況について
- 留萌千望高校法面崩壊事故に伴う対応状況について
- 平成22年度契約状況について
- 平成23年度市税徴収の運営方針について

【政策経営室】

- 「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附について
- お茶の間トーク2011～2012出前メニューについて
- FMもえる「留萌市情報プラザ」の放送時間変更について
- ふるさと応援交流事業について
- 道道留萌小平線の開通について
- まちなか賑わい創出事業「るもい・まちなか賑わい再生プロジェクト」について
- 留萌市土地開発公社の平成22年度決算及び平成23年度事業計画について
- 平成23年度市民アンケートの実施について
- 第5次留萌市総合計画基本計画(後期計画)の策定について

【産業建設部】

- 平成23年度「うまいよ！るもい市」開催日程について
- 平成23年度・24年度の大会・イベント等の概要について
- 「オートキャンプフェスティバル in るもい」の開催について
- 平成22年度るもいプラザ「まちなか賑わい広場」開催状況について
- 市道見晴10号通りの災害復旧について
- 留萌港開発株式会社の平成22年度決算及び平成23年度事業計画について

【教育委員会】

- 平成23年度留萌市立小中学校学級編成について
- 公立高等学校配置計画について
- 給食センター施設見学会の実施について

【各所管共通】

- 平成23年度一般会計補正予算案(第1号)について

第2常任委員会

委員長 村山ゆかり 副委員長 坂本 茂
 委員 小野 敏雄 菅原千鶴子 珍田 亮子
 野崎 良夫 松本 衆司 村上 均
 (アイウエオ順)

《平成23年5月26日開催》 報告及び審議事項

【市民生活部】

- 平成23年度補正予算(案)について
- 下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 平成22年度第1回及び平成23年度第1回留萌市環境審議会の開催結果について
- 廃材等を活用した「子どもたちの玩具」づくり事業について



- ごみ適正排出指導等事業について
- 不用家具等リサイクル事業について
- 平成23年度市営墓地の募集事務について
- 水道事業予算執行結果の概要について

【健康福祉部】

- 平成23年度補正予算(案)について
- 平成23年度緊急雇用創出推進事業について
 - 1) 発達支援情報共有システム調査事業
- 平成23年度重点分野雇用創造事業について
 - 1) 介護サービス等ニーズ調査事業
- 留萌市地域福祉計画の策定について
- 介護保険事業特別会計に係る第三者納付金について
- ICT利活用連携モデル構築事業実施結果について

【市立病院】

- 平成22年度病院事業会計決算(案)の概要について
 - ・実質単年度収支で、3億2330万2千円の黒字となる見込み
- 医師体制(平成22年度～平成23年度)について
 - ・平成22年4月1日現在 常勤医30人、研修医2人
 - ・平成23年5月1日現在 常勤医33人、研修医3人
- 平成22年度患者集計表3月分及び平成23年度患者集計表4月分について

議会です こんにちは

もくじ

- P 12 平成23年第2回定例会議決事項
- P 13 常任委員会の動き
- P 14～15 紙上政策談
- P 16～18 第2回定例会一般質問項目
- P 19 留萌消防組合議会、
留萌南部衛生組合議会ほか

平成23年第2回定例会(6月7日から6月22日)で可決されました諮問1件、報告2件、議案3件、推薦1件、意見書案5件の内容を紹介いたします。

諮 問

- 人権擁護委員の推薦について

推薦された委員 長尾佳子氏
 推薦された委員 下家幸代氏

報 告

- 留萌市土地開発公社の平成22年度決算に関する書類及び平成23年度事業計画に関する書類の提出について
- 留萌港開発株式会社の平成22年度決算に関する書類及び平成23年度事業計画に関する書類の提出について

議 案

- 平成23年度留萌市一般会計補正予算(第1号)

- 留萌市下水道条例の一部を改正する条例制定について

- 議員の派遣について

推 薦

- 留萌市農業委員会委員の推薦について
推薦された委員 中原耕治氏

意 見 書 案

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2012年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- 北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書
- 公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書
- 東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書

紙上政策談

市民を代表する16人の主張(議席順に掲載しています。)



13

菅原千鶴子 議員

【民主クラブ】

財政健全化の推進と並行して経済の立て直し政策の推進を軸に雇用の再生を進めていきます。
教育環境の充実を図り、幼小中連携を推進します。
医療・福祉の充実をめざし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目標に活動していきます。



9

小野 敏雄 議員

【萌芽クラブ】

留萌市の財政健全化の推進と検証を市民目線できちやりチェックし、わかりやすい市政のもと「見える化」を推進したいと思います。議員や議会の活動、留萌市の行政を市民の皆様を理解していただきながら、市民の様々な意見を市政に反映させたいと思います。



14

野崎 良夫 議員

【無会派】

- ①地方自治と、医療施策のエキスパートを目指す。
- ②生活者の目線で、市政に対するチェックを高める。
- ③休止している市民サービスの復活や、市職員給与の復元を求める。
- ④市議会の機能と役割を最大限に生かし、議会基本条例を制定する。



10

対馬 真澄 議員

【萌芽クラブ】

私が市議会議員になろうと決意したのは、子供からお年寄りまでこの留萌のまちで安心して楽しく暮らせるお手伝いがしたいという思いでした。
子供達により良い教育環境を整備すること。お年寄りが安心感のなかで毎日暮らせる環境を作ること。
留萌の豊かな自然をいかし、観光等を通じて経済の活性化を図ること。



15

村山ゆかり 議員

【萌芽クラブ】

「北京で一羽の蝶々が羽ばたくと、ニューヨークでハリケーンが生じる」ミクロの“ゆらぎ”がマクロを制する例があります。活動は、地域密着目線で「自ら行動、継続」を指針とし、自然、食、人材、豊かな留萌の魅力を最大限に拡散すること。「留萌が北海道を変え、日本を変える」高い志を持ち、日々努力いたします。



11

天谷 孝行 議員

【留萌公明党】

●財政健全化を達成し躍進する街●医療環境の充実した健康長寿の街●景気経済の活性化で豊かな街●子ども達がのびのびと元気に育つ街●支え合い安心できる防災の街
この様な留萌の姿を想い描いて市民が希望をもって暮らす『街』を目指して全力を尽くします。



16

松本 衆司 議員

【萌芽クラブ】

これからこのふるさと留萌を担う子供たち、御高齢の皆様、障がいをもたれている方々、そして、全ての市民の皆様が『暮らしていて良かった』と感ずることが出来るように、まちの再生を図り、留萌市の良さというものを、キチンと次代に伝えていく。



12

村上 均 議員

【留萌公明党】

「新留萌市財政健全化計画・市立病院改革プラン」を着実に達成させる事が第一と考えます。
その中で財政健全化の為に市民の皆様へ負担や我慢をしていただいている課題の解決や温水プールぶるもの再開。
地域産業の育成や地域力を集合させた、支え合う「安心・安全」な災害に強い街づくりを進めるべきと考えます。

紙上政策談

市民を代表する16人の主張(議席順に掲載しています。)



5

珍田 亮子 議員

【萌政会】

留萌市民が未来に誇れるまちになるために、特に医療体制の充実・市政の健全化を重点的に、きめこまやかな視点で「環境対策・福祉(特に高齢者や生活困窮者、障がいをお持ちの方々の制度の拡充)・教育問題・道路・防災等の生活対策」、チェック機能の強化などを推進してまいります。



1

燕 昌克 議員

【萌政会】

平成27年度まで続く財政健全化計画を遂行する中、この困難を乗り越える為には、■安心安全な地域の形成■住民自らが行動を起こす地域の形成■産業・教育・福祉・環境・医療の充実した地域づくりの創造などを積極的に進め、全産業の活性化に向け、基幹産業の復活を目指します。

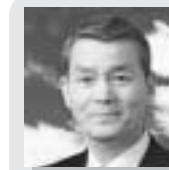


6

坂本 茂 議員

【日本共産党】

市民の声を真直ぐ市政に反映する活動に徹し、真に「市民中心の市政」推進に努める。具体的には、職員・市民の皆さんと力を合わせ、カットしている市民サービスを一日も早く回復。さらに、災害に強いまち、基幹産業はじめ医療・福祉・教育の振興で地域の経済活性化に努める。



2

笹本 牧司 議員

【萌政会】

1. 災害に強いまちづくり
今次震災の教訓に学び計画を修正し、災害から市民を守る。
2. 地域の活性化
健全化計画を見直し、まちに仕事をつくり雇用を生む。
3. 高齢者福祉の充実
特別養護老人ホームの増設を図る。
4. 留萌自衛隊の積極的支援



7

野呂 照幸 議員

【民主クラブ】

留萌市は、財政健全化計画や市立病院充実こそが喫緊の課題です。あらゆるものが札幌一極集中することへの不安を誰しもが持っている中、私たちの基幹産業とする一次産業への対応、さらには地域経済と雇用創出、地域医療について、これまで以上に市政に伝えていくことを目指します。



3

鶴城 雪子 議員

【萌芽クラブ】

留萌の大切な財産であり、観光資源でもある海を、環境汚染などから守り抜き、次世代の子どもたちに残す努力をします。
又、空洞化が加速する中心市街地に歯止めをかけ、子どもから高齢者まで生き生きと暮らせる、元氣溢れるまちづくりを目指します。



8

坂本 守正 議員

【民主クラブ】

財政健全化や病院改革プランの着実な実行で、命を大切にする医療・福祉を確立し、市民サービス、教育施設の回復、職員給与の段階的な回復、経済の活性化と雇用創出、防災環境を整える。議会は透明な運営や推進と改革・機能強化が重要、そのため議会事務局の充実強化が必要である。



4

川口 宏和 議員

【萌芽クラブ】

このまちが抱える課題に対して真剣に立ち向かい、子どもたちが夢と希望を持てるまちづくりを目指します。
そのため、時代の変化を見極める「目」と、人々の思いに傾ける「耳」と、すぐさま現場に行けるように「足」を鍛えたいと思います。

平成23年第2回定例会

一般質問と答弁を
紹介いたします

村上 均 議員
(留萌公明党)

問一 防災対策について

今回の「東日本大震災」の教訓を踏まえ、被害が拡大した要因に津波があります。市の津波災害対策の内容と見直しへの考えを伺います。また、災害時要援護者対策や災害発生に備えた被災者支援システム導入について考えを伺います。

答一 津波避難所は四箇所に開設、緊急避難の場合は高台や鉄筋コンクリート造三階建て以上の建物への避難を指示している。今後は道が練り直す津波シミュレーションとの整合性を図り、避難路の調査と確保、防災施設の見直しを検討したい。災害時要援護者対策は今議会終了後の早い時期に連絡協議会を設置し全体計画を仕上げ、要援護者名簿

の登録整備を進めたい。被災者支援システムは、被災者を救護支援し迅速かつ的確な復旧・復興作業をするための情報処理システムであり、東日本大震災を受けて導入自治体の利便性向上にソフトの改修を認めており、市としても調査研究を進めたい。

問二 各施設の活用について

廃止施設である(旧北海道合板、礼受・三泊小学校の体育館)等の活用の考えについて、市長、教育長の見解を伺います。

答二 旧北海道合板は、まちなかへの誘導が図れる屋内型イベントが可能な建物としての提供を考えている。(教育長)

礼受小は、「緊急雇用対策事業」終了後地域の意向を把握し、また三泊小は、廃校整理終了次第、二校とも地域住民と協議の場を設け利活用を



旧三泊小学校

検討していく。

野崎 良夫 議員
(無党派)

問一 市立病院の経営について

二十二年決算速報値
十一年ぶりに実質単年度収支「三億二二三〇万円」の黒字化を達成したが、三月定例会答弁の「五〇〇万円台」とは六倍であり、この様な不自然な数値の出し方は、会計処理上・適用と言えるか、伺います。

改革プランの見直し
療養病棟から「回復期リハビリ」病棟(三十五床)への移行について、十月を目途に開設する場合、その前に「改革プラン」の見直しが大前提であり、今の手法は順序が逆

であると思うが、伺います。
答一 市立病院院長
一月の最終予算補正時には、不確定要素が多いため、手堅く見積り、不足の事態に対応可能な財源を留保した。早急にプランを見直し、議会に示したい。

問二 留萌港利活用について

留萌振興局は二月に「留萌港港湾設備整備調査」として報告書をまとめました。その内容は、小麦サイロの採算性に関する検証など四項目が提言、意見として出されていますが、市長の率直な意見・感想をお伺いします。

答二 今後、関係機関と情報交換・共有を図り、小麦サイロだけでなく、港湾全般の課題を検討していきたい。



留萌港南岸倉庫

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

問一 留萌市のエネルギー政策

日本のエネルギー自給率は約二〇%。風力発電や太陽光発電など自然エネルギーを自分のまちで起こす「エネルギーの地産地消」を推進する考えはないか、太陽光発電設備への助成金制度を導入できないか伺います。

「バイオマスタウン構想」を凍結して三年が経過したが、今後の取り扱いをお聞かせ下さい。

答一 地域特性に応じた自然エネルギーの普及は大切。LED化を進め節電に力を入れると共に国のエネルギー政策を注視したい。

太陽光発電設備助成は、新たな財源を伴う制度導入は難しい。
M・M・C・Sの活用を断念。バイオマスタウン構想を実現させるものは見当たらない。同構想推進協議会の意見を伺い最終的判断したい。

問二 企業誘致と留萌市の支援
留萌港港湾設備整備調査結

川口 宏和 議員
(萌芽クラブ)

問一 避難所耐震工事計画について

現在避難所に指定されている四十四ヶ所の施設の中には、明らかに地震に耐えられそうにない施設も見受けられます。耐震基準を満たしていない避難所について耐震補強、改修工事を早急に実施すべきと考えますが、そのような計画があるのかお聞きます。

答一 北海道が練り直す新しい津波シミュレーションにより各施設の耐用年数、海抜等の立地条件、地域ごとの配置や代替施設などを考慮し避難所の指定の見直しを検討し、耐震計画についても検討したい。

問二 留萌市地域福祉計画に
よりますと「災害弱者への支援について、地域と行政との連携体制を整備します。」とあります。これを早期に実現するためにも要援護者名簿の整備が必要と考えますが、これに對しまして名簿の作成状況をお聞かせください。

鵜城 雪子 議員
(萌芽クラブ)

問一 海岸環境の整備及び保全について

市内の海水浴場には5月の連休頃から大勢の若者が遊びに来ますが、大変に危険な行



太陽光発電が設備された留萌高等学校

三省堂出店は、市民の熱意が伝わったもので感謝に堪えない。市として署名活動やメ



留萌市立病院

には関係業種の方と意見交換するなかで判断したい。
問二 市立病院が二十二年決算で、計画を上回る大幅赤字を生み出した内容と教訓を明らかにするように求めます。
答二 単年度黒字化の要因は、十年ぶりの診療報酬プラス改定、入院患者の増加と経費の抑制にある。
入院患者の増は循環器内科・外科・脳神経外科の体制強化(救急機能)や、眼科・総合内科医の着任。市民とのつながり・医療連携の向上がある。経費削減では、人件費の独自削減継続・後発医薬品採用拡大など、当院の特色ある取り組みを生かしてさらに頑張ります。



校舎の老朽化が見られる留萌小学校

為である「直火」が後を立たず、以前に火傷の事故があったにも関わらず明確なルールや看板もなく、ビーチは今年も荒れ放題となっています。利用の明確なルールとなる海水浴場使用条例の制定について市としての考えをお伺いします。

【答一】海水浴場の開設時期には、直火禁止やルールなどの看板を設置し、炭捨場を設置するなどの対策を講じているが、指定管理者の観光協会を中心としてボランティア団体などと連携し、海岸の適切な利用啓発に向けた取り組みと、きれいな留萌の海の環境保全に努めたい。

【問一】黄金岬からゴールデンビーチにかけての景観の維持や危険性を回避するために、行政として廃屋や増え続ける粗大ゴミの撤去など、市の基本的な考えをお聞きます。
【答一】道路周辺の粗大ゴミについては市が管理している施設や用地以外の私有地等にあるものについては、土地の所有者や原因者が対応を図る事が原則であり指摘の廃屋も景



危険な直火の跡(ゴールデンビーチ)

観に支障を与えるからと個人の財産や敷地内のある所有物を撤去させるのは難しい。海岸通りの景観を守りながら市民や観光客に愛される場所となるように整備を努めた

菅本 牧司 議員 (萌政会)

【問一】市政運営について

留萌市の経済情勢と対応
昨年末からの厳しい経済状況をどう認識するか、行政としての対応について伺います。
健全化計画の現状と見直し
病院経営の改善、指標の回復をどう判断するか、見直しの具体策について伺います。
留萌市の今後の展望

菅原千鶴子 議員 (民主クラブ)



防災訓練

【問一】留萌市の防災について
今次震災の教訓と計画修正
市の防災計画の抜本的修正
特に大津波から市民を守るための施策をお聞きます。

計画の周知と訓練
計画のマニュアル化と配布
警報の伝達を含む訓練が重要です。市民の意識を変える施策についてお聞きます。
【答二】道の津波予測の修正を受けて計画の修正を図る。特に避難路の調査は早急の実施する。
防災計画の修正後市民にマニュアルを配布。自主防災組織と連携した訓練を継続する。

設置の働きかけをしていく。
【問二】雇用創出と留萌市の取り組みについて
ふるさと雇用や緊急雇用などの国の政策を活用しているが、終了後の継続雇用や正規職員登用が進んでいない現状と今後の課題。
また、コールセンター撤退の原因について質問しました。
【答二】地域の雇用情勢は厳しい状況が続いており雇用の継続が進んでいない。更なる雇用対策を国や北海道の今後の施策に注視し、最大限活用しながら、雇用対策を進めていきたい。コールセンター撤退は東日本大震災の影響による業績不振が原因と聞いている。



避難所の見直し

留萌消防組合議会報告

留萌消防組合は、留萌市と小平町で組織をされ、留萌市から五名、小平町から三名の議員が選出されて、留萌消防組合議会が形成されています。今年度については改選期ということもあり、五月三十日に第一回臨時会を開催し、正副議長、監査委員の決定と、化学消防ポンプ自動車の取得について議決し、六月二十九日に開催した第二回臨時会では補正予算と水槽付消防ポンプ自動車の取得を決めました。留萌市民の安全・安心を守る消防の議会として、今後、定例会においては一般質問も予定されています。

留萌南部衛生組合議会報告

留萌市・小平町・増毛町の一市二町によるごみ処理等について審議するため議会を開いています。

今議会より、小平町と増毛町の各町長が副組合長に就任いたしました。改選により新しい議員も選ばれ、七月十四日には新処分場計画地の視察を行いました。



萌平トンネル

平成23年5月17日、道道留萌小平線の萌平トンネル(延長488.5メートル)が開通した。小平町側の出入口で、留萌市・小平町主催の開通交通安全宣言のセレモニーが行われ、両市町の議会議員、交通安全関係者らが参加し、保育園児による交通ルールの安全宣言が元気に行われた。

留萌小平線は、留萌市春日町と小平町達布を結ぶ生活・産業道路で、小平町達布・寧楽地域から市立病院への通院時間が大幅に短縮され、小平町、苫前町間の国道232号が通行止めになった際の迂回路としても活用される。

トンネルの着工は、2007年10月、工事費は約18億円となっている。



萌平トンネル開通式

議会広報特別委員会から

新たな顔ぶれでの6月定例会におきましては8名の一般質問が行われ、防災について多数質問されておりました。

年4回の議会だよりでは、議会の審議状況など解りやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想などお気軽にお寄せください。

菅原千鶴子(委員長)・鶴城 雪子(副委員長)
天谷 孝行・川口 宏和・燕 昌克

青山 貴幸

新人議員が、現在までの活動を通して捉えていた、自分の思いや考えを市に対して質問していましたが、それに対して市長や担当部長からの、役所の方針や対応策が、私たち一般市民にはよくわからなかったのが残念でした。

なぜなら若者達がよく砂浜で焼肉をしていますが、マナーの悪さに驚いてしまう現状だからです。又、砂の中には炭やビンのかけらなどが混ざり、子供達が裸足で歩くことが危険な状況にあります。私個人の考えですが、留萌の発展を考えるのであれば、市役所・留萌振興局・地元活動ボランティアが一体化となり真剣に考える必要があると思います。

穂積 義俊

議会を傍聴して

6月21日に留萌青年会議所に所属する新人議員が一般質問するという事で議会を傍聴させていただきました。

その日の質問者は4人中、2人が新人議員とあって、議場全体が緊張感に包まれているようでした。質問内容としては、東日本大震災を受けて、防災の観点で質問をしていました。留萌市が非常に厳しい経済状況であるのは重々承知だが、子を持つ親としては子どもたちは、安心安全な場所で勉強したり、運動してほしいため、校舎の耐震工事や補修工事は早急に計画してほしいと感じました。今後も議会の動向、行政の施策等に注目し議会を傍聴します。